

HTEC TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 滝澤 信彦

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
ケータイで
簡単アクセス!



山本理事長トツプトーク

本田技研工業株式会社 専務取締役兼
株式会社本田技術研究所 代表取締役社長
山本 芳春 さん



プロジェクターを使ってわかりやすく説明していただきました



学生からは積極的な質問がたくさん出ました



熱心に話を聞く学生たち

ホンダは、陸・海・空にわたる大変幅の広い商品展開をしています。ホンダが目指しているのは、どこへでも自由に行ける移動の喜び。そしてそれを支えている。豊かな持続可能な社会の実現です。自由な移動の喜びの実現を目指して、新しい技術の車の開発を行っています。豊かで持続可能な社会の実現を目指して、CO2低減技術搭載車の開発にも努力しています。環境問題においては、アジアやアフリカの経済の発展に伴い急速なモーターリゼーションの波が押し寄せると考えられ、世界的な温暖化を抑制する為、自動車メーカーとしてわれわれホンダはやるべきことは全部やる覚悟です。車やバイクからのCO2排出のゼロ化とエネルギーリソースのゼロ化、また製造過程での廃棄物ゼロ化を加えたトリプルゼロをホンダは目指しています。

次にホンダ学園の皆さんに考えて欲しいことは、誰の為に「なおす」のかという事です。現場において当初に計画された製品の性能が完全に発揮出来るように整備するということが基本の「車を直す」であり、サービスのみなさん、我々の出発点です。その上で困惑したり怒っているお客様の気持ちも察して、お客様の「心を治す」。そして、お客様の不満や品質情報などの貴重な情報を、いち早く開発や生産の場に伝えて、よりよい車に直していく、すなわち「開発を直す」。

いかに言えば、お客様にとって一番大切な製品の品質を守るといふことです。これは、お客様の笑顔を作っていくことにもなります。その笑顔の大きさが、私達ホンダの品質の高さになります。将来、日々現場で実際にお客様と接する皆さんの仕事の在り方がとても重要なのです。つまりお客様に笑顔＝品質というモノづくりにとつて非常に重要な部分を守っているのが現場であり、学生の皆さんに大いに期待するところであります。

なおす＝技術ですが、それを誰のためにやっているのか、ということをお忘れはけません。「3つのなおす」ということを学生のみなさんには是非考えて欲しいです。

最後に・・・

「The Power of Dreams」

皆さんの夢は何でしょう。夢の力はとても大きくて強いものです。夢はみなさんがつくるもの。人から言われたものではなく自分で創るものです。

その事を心に留めて頂いてホンダ学園での学びに、そして皆さんが創る未来に期待しています。

(抜粋・要約)

12月18日(火)、本田技研工業株式会社専務取締役兼株式会社本田技術研究所代表取締役社長であり本校の理事長でもある山本芳春さんをお招きしてトツプトークを開催いたしました。ホンダが目指している将来、環境問題への取り組み、そして整備士として「3つのなおす」という大切な考え方のお話をいただきました。

TOPICS 「ホンダ学園賛助会企業セミナー」開催!



いよいよ就職活動キックオフ!

12月13日(木)、「ホンダ学園賛助会企業セミナー」を開催しました。ホンダ系企業で構成する「ホンダ学園賛助会」のご支援の基、学生が企業様と直接面談し、具体的な情報を得ることが出来る絶好の機会として毎年実施しております。60社以上のご参加をいただき、学生は志望の企業の話に熱心に聴きメモを取り、疑問点は積極的に質問していました。学生はこのセミナーをきっかけに就職に対する意欲、お話を伺った企業に就職したい、という想いが一層高まったと感じています。学生の皆さん!大変厳しい就職環境ですが、自分自身の想いと努力、信念と情熱を持って強い気持ちで頑張ってください!

自動車研究開発科 学生フォーミュラUS選考会



12月12日(水)、自動車研究開発科は平成25年6月の学生フォーミュラUS大会に向けて選考会を実施しました。このイベントは、選考会でもありながらホンダの開発業務に携わっている方々から評価を頂く場でもあります。二輪・四輪 汎用の各本田技術研究所や、ケーヒン・日信工業といったホンダ関連企業から多数の開発や人事採用担当の方々にお越し頂き、マシンコンセプトのプレゼンテーションから実車の紹介、耐久走行等「学生フォーミュラ大会」を想定した内容で実施しました。若干のマシントラブルはあったものの、そのリカバー方法や学生の対応、行動も重要なポイントで、学生にとっては貴重なイベントとなりました。今後、2年生チームの「CL2」は、各企業様から頂いた課題、問題点を修正し、US大会に向けてのアドバイスを活かして平成25年のUS大会を目指します。

Facebookページ是非見て下さい!! いいね!をください。 学園での日常生活や、学生の様子など様々な記事を掲載していきます。皆さん是非見て下さいね。